



Sodick

Sodick Times

2024年12月期(第49期)事業報告書

2024年1月1日～2024年12月31日

Special
Feature

トップインタビュー

株式会社 ソディック

東証プライム：6143

代表取締役
社長執行役員／CEO
坪 祐次

代表取締役 会長
(取締役会議長)
古川 健一

構造改革をさらに加速し、新たな未来を切り開くための 事業基盤の確立と成長戦略を実行します

当期は、中期経営計画で掲げた構造改革が奏功し、2年ぶりの増収増益となりました。
当期の振り返りと今後の取り組みについて、2025年3月末から代表取締役 会長に就任する古川健一と、
代表取締役 社長執行役員／CEOに就任する坪 祐次よりお話しします。

Q 当期の全体業績はいかがでしたか。

全事業で増収、2年ぶりの黒字回復へ

当期の売上高は736億円、営業利益は22億円と、前期比で増収増益となりました。要因としては、工作機械と産業機械の販売台数の増加があげられます。また、営業利益に関しては、増収効果ならびに外部環境に適應するための工作機械事業の構造改革が奏功し、黒字回復となりました。

期中に開催されたJIMTOF（日本国際工作機械見本市）や米国のIMTS（International Manufacturing Technology Show）など国際的展示会にも客足が戻り、当社もハードウェアとソフトウェアを組み合わせた工作機械を多数展示。当社ソリューション事業への理解を深めていただく機会となりました。

Q 今後の成長戦略について教えてください。

ソリューション事業の推進と保守サービス、消耗品販売の強化により成長を促進

全般的な市況感としては好調とはいえないなか、各地域の需要動向を見極め、好調な産業に対して迅速かつ選択・集中的にソリューション事業を展開していきます。今後は、このグローバル視点でのマーケティングが重要になると考えております。新たに米国で動画配信を活用したインフルエンサーマーケティング*をスタートさせ、確かな手応えを感じています。こうした新たなマーケティング手法を他地域にも展開し、売上拡大に繋げてまいります。

主力の放電加工機や射出成形機については、研究開発活動を強化し、さらなる高付加価値化をめざします。今後はマシニングセンタ、金属3Dプリンタ、レーザー加工機等のラインアップの強化・拡充を図り、ソリューションの幅を広げることでお客様のさまざまなニーズに対応し、市場シェア拡大に繋げていきます。

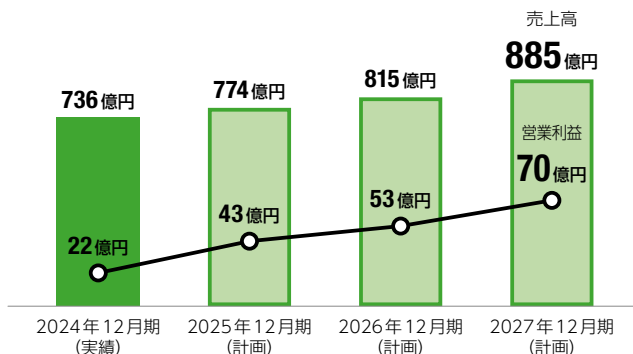
加えて、保守サービス・消耗品販売の強化にも取り組みます。これらは機械本体よりも景気の影響を受けに

※特定の分野や領域で影響力を持つ人（インフルエンサー）に自社ブランドや製品を紹介・宣伝・PRしてもらい、認知拡大・売上向上に繋げるマーケティング戦略

くく、安定的な売上が見込めます。またお客様の製造の安定化に貢献し、顧客満足度向上、信頼関係構築にも繋がります。今後、当社の新たな強みとなるよう、グローバルに強化を図ります。

地域戦略に関しては「脱中国依存」を方針の一つに掲げ、中華圏以外の地域への展開を強化していきます。新興国においては、経済発展が目覚ましいインドでテクニカルセンターを開所し、市場開拓を推進します。

■ 中期経営計画における業績目標



Q 株主の皆様へメッセージをお願いします。

さまざまな施策の実行により企業価値を高め、安定的な配当をめざします

当社の持続的な成長にとって、従業員一人ひとりが最も大切な財産です。多様な人材にとって働きやすくやりがいのある環境をつくり、企業価値を高める取り組みを多角的に推進していきます。また組織風土改革を推進し、自律的かつボトムアップ型の組織への変革を図っていきます。当期の配当は、DOE（株主資本配当率）2%以上の方針に基づき、

一株当たり年間配当は29円としました。今後も安定的な配当を継続していく予定です。PBR1倍を下回る水準が継続していますが、中期経営計画に基づきさまざまな成長戦略を実行することで収益性を高め、さらなる業績向上とPBRの早期回復を実現します。株主の皆様には、今後も一層のご理解と当社へのご支援を賜りますようお願いいたします。



Sodick Smart Solution

進化を続けるコア技術

JIMTOF 2024

開催レポート

2024年11月5～10日、国内最大規模の工作機械展示会「JIMTOF（日本国際工作機械見本市）」が開催。当社もブース出展し、1万人を超える多くのお客様に製品・サービスをアピールすることができました。



第32回JIMTOFは、コロナ禍以前の水準にまで客足が戻り、盛況のうちに終了しました。今回は、特に中華圏を中心とした海外からの来場者が多く、日本企業の工作機械の注目度の高さが垣間見えました。

当社ブースでは「自動化・省人化」「大型化対応」「IoTサービス」を軸に、新製品・新サービスを展示。近年にない引合件数を記録し、大きな反響がありました。実際にブースに来場したお客様からは、「ソディックらしい性能の高さ、顧客に寄り添う姿勢を感じた」とのお言葉をいただきました。ここでは、その展示内容の一部を紹介します。

PICK UP ①

ワイヤ放電加工機

AX350L i Groove+ Edition



製品情報
はこちら



自動化・省人化

フルオート運転で
製造現場の課題を解決

工程間自動化システム「AMR RocoMo-V」を活用したフルオートシステムを展示しました。





ココがすごい!

顧客目線のユーザビリティと性能を両立する
ソディックの最新放電加工機



Before



After

中子処理も
簡単!



フェムト秒レーザー加工機

LSP4040

製品情報
はこちら

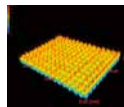


PICK UP ②



ココがすごい!

ソディック初のレーザー加工機
幅広い材質の超精密加工を実現



▲ 突起径6 μ 高さ20 μ の微細突起
パターン加工例。金型の撥水性、
離型性を高めることができる。

開発担当者へ聞く!

Q 従来機から進化したポイントを教えてください。

A 「AX350L iG+E」は、高精度加工とユーザビリティを両立した放電加工機です。ワイヤ回転機構を搭載し、安定した高精度加工を実現するとともに、メンテナンス性向上や自動化にも対応しています。また省エネ性能が高く、導入企業のコストカットにも貢献します。

Q どのような産業での需要が見込まれますか?

A 現在市場が大きく成長している、モビリティ産業やモバイル電子機器産業での需要増を見込んでいます。



モビリティ産業

- EV車用モータコア
- 冷間鍛造金型(ダイス)



モバイル
電子機器産業

- ICリードフレーム

開発担当者へ聞く!

Q なぜ「レーザー加工」に着目したのですか?

A 当社ではこれまで微細加工向けにAZシリーズやナノマシンなどの高精度加工機を提供してきましたが、近年、放電や切削では困難な素材の加工需要が増加しています。そこでセラミックスやダイヤモンドなど幅広く対応できる、非熱加工の超短パルスレーザーに注目。長年の基礎研究の末、産業分野での応用もますます進展していることから、市場の将来性を見込み販売開始に至りました。

Q 「LSP4040」の特徴について教えてください。

A 「LSP4040」は搭載するレーザー発振器の標準仕様を設けず、お客様と共に仕様を決定するカスタマイズ方式を採用しています。最適なレーザー発振器の種類や軸構成、カウンター軸機構やロータリーテーブル追加など、お客様の使用環境や加工目的に応じて設計できます。実際に導入されたお客様からも、従来の選択肢に縛られず、一から仕様を作りこめる点を評価いただいております。

大型化対応

ものづくりの大型化需要に
対応する大サイズ展開

大型化する金型部品(順送プレス、ワールド金型、ダイカスト金型、部品加工)に対応できる精密加工機を紹介しました。



IoTサービス

未来を切り拓く
次世代の工作機械

タブレットNC [SatelinC] を
初出展。新しい形のNCとし
て進化をアピールしました。



他にも多数出展
詳しく知りたい方は



360° VR展示会

開発者 Interview

遠隔監視NC装置

サテリンク SatelinC 開発秘話

Q サテリンクについて教えてください。

A SatelinC (サテリンク) は、「ソディックの機械を手元に (Sodick machines at your hand)」をコンセプトに、機械を遠隔操作できるようにする遠隔監視NC装置です。

従来のNC画面ではなく、タブレット端末を使用して操作することで、すぐ近くにソディックの機械があるような、新しいユーザー体験を提供することができます。

Q どんなことができるようになりますか？

A 事務所のデスクに座ったままでも、手元のタブレット端末だけで機械の操作ができるようになります。また SatelinC を複数台の機械と接続し、ワンタップで切り替えることも可能です。

国内労働人口が減少していくなか、ひとりで機械を複数台使用する未来はすぐそこだと思っています。SatelinC を使うことで、工場の業務効率化に貢献することができます。

工作機械事業本部 機械事業部
技術開発統括部 要素開発部IoT
アクショングループ
水谷 亘さん



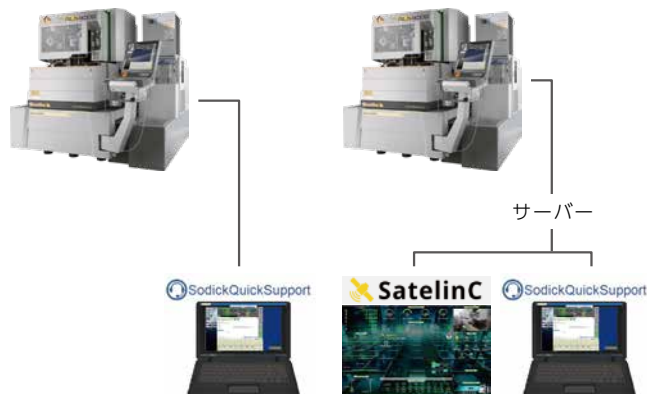
Q 開発で苦労したことは？

A タブレット端末の画面はNC画面よりも小さいので、インターフェースの再設計が必要でした。タブレット端末の携帯性を活かしながらも、お客様の使いやすさを両立させるのが、非常に苦労しました。

また「NC画面の印象を一新したい」という社内の要望もあり、画面設計には時間をかけました。私自身、インターフェースについて勉強し、遊び心のあるデザインにも挑戦しました。そんな自由な発想を受け入れてもらえたのは、当社ならではのと思っています。

従来
(Sodick Quick Support)

SatelinC



Tech News

進化を続けるソディックの製品情報を
わかりやすくお届けします。



新製品ニュース
を知りたい方は
こちら



消費電力量を従来比10%削減
サステナブル対応ニーズに応える
次世代放電加工機

リニアモータ駆動
超精密ワイヤ
放電加工機

AX350L
"i Groove + Edition"



放電加工機とは？

電気のエネルギーを利用して、硬い金属を加工する工作機械。金型や精密部品の製造に用いられるソディックの主力商品



自動車
駆動用部品



スマート
フォン

メンテナンス頻度を大幅削減
省人化に貢献する
金属3Dプリンタ

リニアモータ駆動
精密金属3Dプリンタ

OPM250L+



精密金属3Dプリンタとは？

切削加工の難しい金属合金素材の金属粉末を溶かして、デジタル図面から一体化構造で高精度な金属部品を造形する機械



医療用
インプラント



自動車用部品／
航空機

部品削減が進む自動車業界に向けた
大型仕様射出成形機

ハイブリッド堅型ロータリ式
射出成形機

VR200G



射出成形機とは？

プラスチック樹脂を加熱溶融し、金型から射出し成形品を生産する機械



自動車部品／
光コネクタ



医療用
注射器

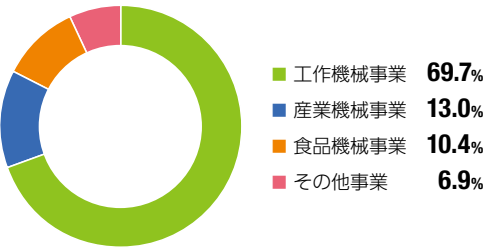


業績・財務ハイライト

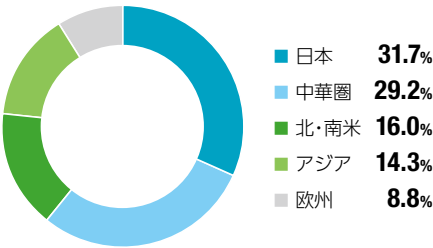
連結損益計算書の概要 (単位:億円)

	2023年12月期	2024年12月期	前期比	2025年12月期 (計画)
売上高	671	736	9.7%	774
営業利益	△ 28	22	—	43
経常利益	△ 12	36	—	38
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 46	41	—	29

セグメント別売上高構成比 (2024年12月期)

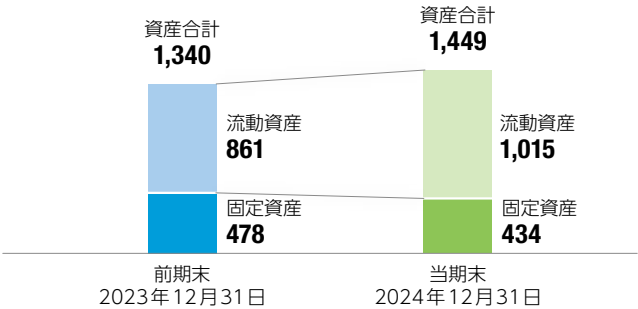


地域別売上高構成比 (2024年12月期)

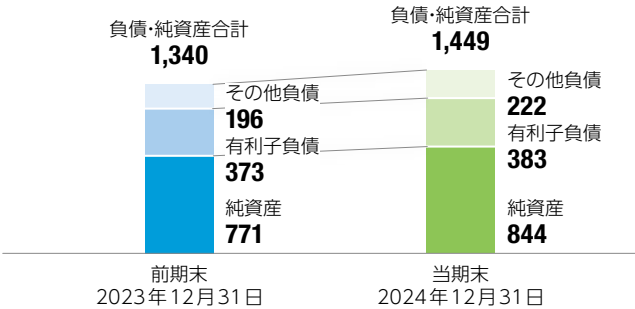


連結貸借対照表の概要 (単位:億円)

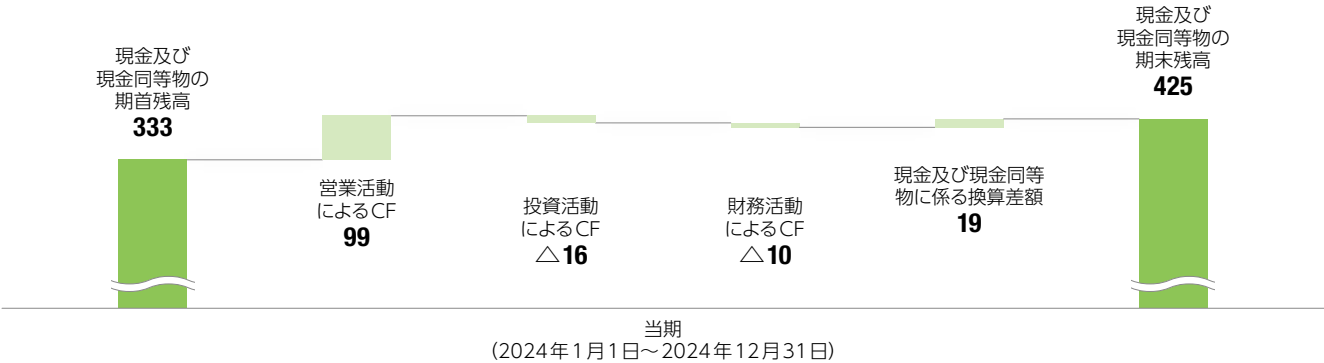
資産の部



負債・純資産の部



連結キャッシュ・フロー (CF) 計算書の概要 (単位: 億円)



業績ポイント解説

Q 売上高の状況と要因について

A 当期は全事業で売上高が増加し、全体業績は736億円(前期比64億円増、+9.7%)と、大幅な増収となりました。要因は主力の工作機械事業が、中華圏の需要回復による工作機械の販売台数増加で、前期比10.0%増収の513億円と大幅に伸ばしたためです。また、産業機械事業は光コネクタ需要の牽引による販売台数増加、食品機械事業においても、国内外での米飯装置、製麺機を中心に需要が堅調に継続し、売上高の増加に貢献しました。

Q 営業利益の状況と要因について

A 営業利益は、増収効果および構造改革の進展により、22億円(前期比50億円増)の増益となりました。構造改革については、工作機械事業における海外工場の人員の適正化、外注部品の内製化などによる売上原価の低減が進捗するとともに、産業機械事業での高収益モデルへのシフトが奏功し、売上総利益率は前期比+4.0%となりました。また、全事業での販管費削減を進めたことで黒字回復を達成しました。

株主還元方針

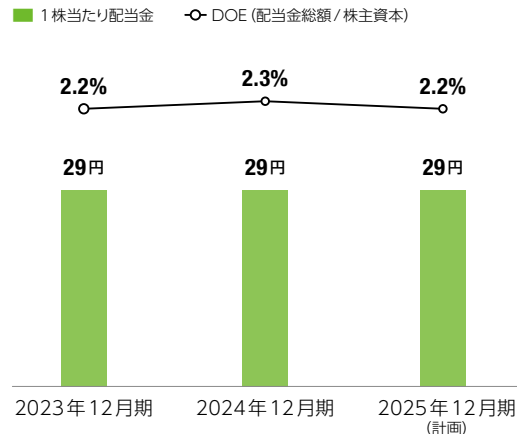
当社では、株主還元の状況を示す指標として株主資本を基準にしたDOE（株主資本配当率）を採用しています。この指標に基づき、厳しい事業環境の中においても持続的な成長と株主の皆様への適切な利益還元のため、安定配当を実施してまいります。

財務目標

	指標	目標
資本効率	ROE (5年平均)	8%以上
財務の健全性	自己資本比率	50%以上
株主還元	DOE ^{※1}	2%以上
	総還元性向 ^{※2}	40%以上

※1 DOE（株主資本配当率）＝配当金総額÷株主資本（期首・期末平均）

※2 当社における総還元性向の計算式：総還元性向＝ $\frac{(n\text{年度の配当}) + (n+1\text{年度の自己株式取得額})}{n\text{年度の当期純利益}}$



Sodick News

ソディックの今がわかる、旬な情報をお届けします



「Nendy-E」が「2024年“超”モノづくり部品大賞 機械・ロボット部品賞」受賞



当社の射出成形機搭載型の溶融せん断粘度測定装置「Nendy-E（ネンディ）」が、「2024年“超”モノづくり部品大賞」の「機械・ロボット部品賞」を受賞しました。高分子材料や複合材料などの溶融粘度を測定できるNendy-Eは、成形材料の粘度評価や管理に使われ、成形品の品質向上に寄与します。今後も、日本のモノづくりに貢献する製品の開発に努めてまいります。

株式情報

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式総数	54,792,239株
株主数	16,114名

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	1月1日～12月31日
株主確定日	● 定時株主総会、期末配当金:12月31日 ● 中間配当金:6月30日
定時株主総会	毎年3月
公告の方法 (公告掲載URL)	電子公告により行う https://www.sodick.co.jp/ir/ir-f.html ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じた時には、 日本経済新聞に公告いたします。

大株主

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,168,900	13.08
株式会社ソディック	4,223,169	7.71
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,721,100	4.97
森田 清	1,190,070	2.17
ソディック共栄持株会	993,600	1.81
ソディック従業員持株会	930,601	1.70
有限会社ティ・エフ	895,000	1.63
株式会社三井住友銀行	850,000	1.55
古川 健一	839,901	1.53
古川 宏子	800,000	1.46

株主名簿管理人	および特別口座の 口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
郵便物の送付先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-782-031 (通話料無料)	
電話お問合せ先	ホームページアドレス	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場 証券コード:6143	

株主アンケートへのご協力をお願いします

今後のIR活動に活かすため、株主通信についてのご意見・ご感想、
当社に期待するIR活動などを教えてください。



会社情報 (2024年12月31日現在)

会 社 名 株式会社ソディック
所 在 地 本社
〒224-8522
横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号
TEL:045-942-3111(代表)
設 立 1976年8月3日

資 本 金 246億18百万円
代 表 者 古川 健一
従 業 員 数 1,180人(連結3,417人)
連結子会社 19社
持分法適用の関連会社 1社

役 員 (2025年3月28日現在)

代表取締役会長
代表取締役 CEO 社長執行役員
取締役 専務執行役員
取締役 常務執行役員
社外取締役
社外取締役
社外取締役

ふるかわ けんいち
古川 健一
あくつ ゆうじ
坪 祐次
つかもと ひでき
塚本 英樹
たかぎ まさと
高木 正人
くどう かずなお
工藤 和直※
のなみ けんぞう
野波 健蔵※
ごとう よしかず
後藤 芳一※

社外取締役
取締役 監査等委員
社外取締役 監査等委員
社外取締役 監査等委員
社外取締役 監査等委員

さ の あやこ
佐野 綾子※
かわはら てつろう
河原 哲郎
おおたき まり
大滝 真理※
ごうはら はるちか
郷原 玄哉※
おおむら ゆきこ
大村 由紀子※

※東京証券取引所の定める独立役員であります。

ソディック ホームページ 「IR情報」のご案内

株主・投資家様向けの情報を
開示しています。ぜひご覧ください。

<https://www.sodick.co.jp/ir/>

IRサイト



cover photo

レーザー加工機「LSP4040」

2024年11月に販売を開始したレーザー加工機は、切削・放電では加工できないダイヤモンドや超硬合金などの高硬度材も加工できる、ソディックの新たな挑戦です。



※画像はイメージです



株式会社 ソディック

〒224-8522
横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号
TEL:045-942-3111